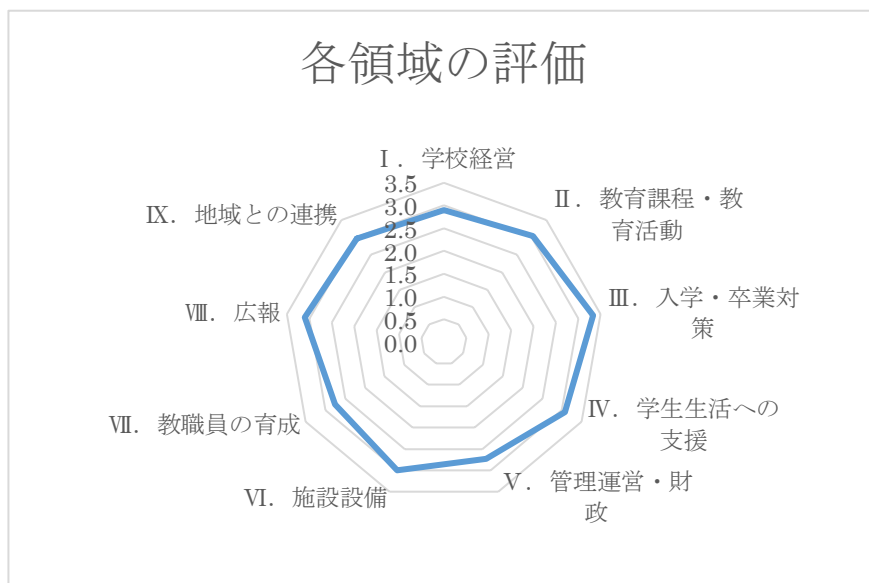


令和2年度 学校運営評価

新潟看護医療専門学校は、教育の質の向上を図り、学校の設置目的を達成するために、教育活動全般について自己評価を行い、改善を行うための学校運営評価を行っています。

学校運営評価は、9領域44項目からなり、「4 良い」「3 適切」「2 やや不十分」「1 不十分」の4段階評価を行っています。

領域	主な内容	項目数
I. 学校経営	学校の組織運営、組織目標について	6
II. 教育課程・教育活動	教育目標、教育内容、授業や実習について、評価について、学生による授業評価の活用等	15
III. 入学・卒業対策	入学希望者への対応、国家試験対策、卒業生への支援	4
IV. 学生生活への支援	就職や進学への支援、経済的支援、健康管理	5
V. 管理運営・財政	個人情報管理、災害への備え等	3
VI. 施設設備	学校の建物、設備、バリアフリーへの配慮	3
VII. 教職員の育成	研修の実施、学会派遣、教員相互の授業参観等	4
VIII. 広報	広報	2
IX. 地域との連携	地域との連携	2



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた年となった。「III. 入学・卒業対策」「IV. 学生生活への支援」は例年通り高評価となった。また、昨年度低迷していた「VI. 施設設備」については、経年劣化が見られる備品の入れ替え及び感染症予防のために新たに整備した備品も数多くあり、例年に比べて整備が行き届いたことが評価の改善に繋がった。一方で、これまで高評価となっていた「IX. 地域との連携」については評価が低下する結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで実施していた地域とのワークショップに関する取り組みが思うように実施出来なかったことが影響していると考えられる。今後、新しい生活様式に即し、どのようなかたちであれば地域貢献が可能となるかを改めて模索していく必要がある。

前述の通り、評価結果は時勢が強く反映されている。引き続き、本校の強みを活かしつつ、新たな取組を模索し、実施することで低評価の項目を改善していく必要がある。目的、問題意識を共有し、時代に即した教育を提供できるよう教職員一丸となり、より良い学校運営に取り組めるよう邁進していく。